

北九州市立大学法学部 政策実践プロジェクト

北九州市立大学法学部は、「少人数」教育、「ZERO距離」教育が特徴です。教員と学生が密接にかかわり合い、お互いの信頼感・親近感が生みだされます。目標に向かって努力する学生たちに対して教員も熱意をもって協力・援助する、また、教員も学生たちから学ぶ。法学部ではこのような相互に学びあう関係のなかで、社会の変化に対応できる人材育成を目指しています。このような方針のもと、政策科学科では、公共政策分野の課題解決に向けた政策分析、政策立案能力を養うため、フィールドを重視した実践的な政策研究活動を行う「政策実践プロジェクト」を展開しています。



○田代ゼミの政策実践プロジェクトとその特徴

政策科学科の田代ゼミ(指導教員 田代洋久教授)では、人口減少社会や少子高齢化、地域経済の停滞といった地域の諸課題を踏まえ、歴史、文化、景観など地域固有の文化的資源を活用した地域の魅力創出や地域づくりの政策研究を進めています。



田代ゼミの政策実践プロジェクトの特徴は、学生視点を維持しつつ実践的に役立つ政策提案を目指し、単なる政策アイデアの提示にとどまらない時間をかけたプロジェクト展開にあります。プロジェクトチームは原則、学部2～3年生から構成され、教員との議論や指導を受けながら、学生プロジェクトチームによる自主的な運営がなされます。

2017年度は、大分県臼杵市役所、臼杵商工会議所、臼杵市中央通商店街振興組合、NPO法人うすき竹宵などの団体と協力しながら臼杵市中心市街地における歴史文化観光まちづくりに関する3つの政策提案を行いました。2018年度は、福岡県北九州市市民文化スポーツ局文化部の協力を得て、文化まちづくり政策をテーマとした4つの視角による政策提案を行いました。いずれのプロジェクトも高い評価をいただきました。

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
全体	オリエンテーション	チーム分け	情報収集・仮説設定・フィールドワーク準備		フィールドワーク①	情報整理・共有	フィールドワーク②	分析・アイデア出し	提案決定・発表準備	発表練習・まとめ
チーム					情報整理・共有					
個人					文献調査・記録整理・提案					

図：プロジェクトスケジュール例(2017年度)

○2016年度のプロジェクト—大分県臼杵市

事前学習

的確な政策提案を行うためには、地域のことを知り、政策課題を把握し、課題解決に向けた仮説を持つことが不可欠です。

そのため、フィールド調査実施前に、入手可能な資料を持ち寄り、事前学習を行いました。



フィールドワーク

現地でのフィールドワークでは、見るもの、聞くもの、感じるもの、すべてが貴重な情報です。メモを片手にポイントを書き留め、のちのディスカッションで情報を共有化します。



交流会

臼杵プロジェクトでは、臼杵市役所をはじめ関係者の皆様により懇親会を開催していただきました。こうした地域の人たちとの交流も貴重な経験です。



政策提案の検討

臼杵プロジェクトでは、二度のフィールドワークを行ったあと、政策提案の検討・評価を行いました。KJ法（カード等を使用したアイデアの発想と収束技法）を応用した実践的なアイデア抽出技法も学びました。



報告会の開催

何度も実施したりハーサルを経て行った政策提案報告会では、長期に及ぶプロジェクトの成果を出し切りました。提案内容は関係者だけでなく、複数の新聞メディアにも取り上げられ、高く評価されました。



○2017年度のプロジェクトー福岡県北九州市

事前学習

多くの学生にとって、文化政策はなじみがありません。そこで、北九州市の担当部局の方にお越しいただき、事前学習として文化政策のレクチャーをしていただきました。

フィールドワーク

9月には北九州市の文化施設をめぐるツアーを開催し、各施設の担当者から現状と課題について話を伺いました。その後のグループワークでは自主的に文化施設へインタビューやまちあるき、文化イベントへの参加を行い、政策課題の発見に努めました。

政策提案の検討

単に政策アイデアを出すだけでは、政策の表層しかつかめません。そこで、実現性や政策効果の観点からディスカッションを重ね、政策提案の熟度を高めて行きました。



学生視点による4つの政策提案

文化空間の創造

都市空間の魅力向上
～アートによる空間の創造～

日本遺産の活用

ノスタルジック門司
～私たちの門司港ストーリー～

文化まちづくり

アニメのまちづくり

メディア芸術活性化計画
～『銀河鉄道999』40周年プロジェクト～

文化力の発信

『多様な文化のまち北九州』の定着に向けて
～北九州文化まるごとパスポート～

◇文化空間の創造：都市空間の魅力向上～アートによる空間の創造～

北九州市の中心地である小倉駅周辺の魅力を高めるため、まちなか空間を活用した文化体験や文化イベント等を行う「気軽にアートプロジェクト」を、アーティスト、行政、事業者、大学などが連携して展開することを提案する。



◇日本遺産の活用：ノスタルジック門司～私たちの門司港ストーリー～

門司港レトロ地区は観光地として定評があるが、周辺地への拡張性が乏しく、門司港の歴史的厚みが体感できない、来訪者の滞在時間が伸びないなどの課題がある。門司港地区が日本遺産に登録されたことを契機に、食文化など門司の歴史文化と魅力が体感できる「ノスタルジックまちあるき」を提案する。



◇アニメのまちづくり：メディア芸術活性化計画～『銀河鉄道 999』40周年プロジェクト

小倉駅近辺では漫画ミュージアムや「銀河鉄道 999」をコンテンツとしたアニメのまちづくりが推進されている。「999」の世界観を空間的に拡張するとともに、コスプレイベントなどの関連イベントの開催や漫画ミュージアムの機能強化を行うことで「アニメのまち北九州」の発信強化を提案する。



◇文化力の発信：「多様な文化のまち北九州」の定着に向けて～北九州文化まるごとパスポート

文化施設をめぐるだけでなく、①文化体験プログラム、②対象施設の拡大、③市民文化の視点を折り込んだ「北九州文化まるごとパスポート」を発行し、芸術文化領域にとどまらない北九州の多彩な文化力を可視化し、地域内外に発信することを提案する。



○参加学生の声

- ・個人の意見をまとめて一つの形にすることや、その後のグループ内の考えを、正確で分かりやすいイメージにして表現することの大変さを学びました。
(Sさん(3年生))
- ・最初は客観的に考えるだけでしたが、ヒアリングや調査を通して、面白い政策を提案したいと思うようになりました。
(Hさん(2年生))



○市役所職員の声

- ・仮説を立てながら政策提案を考える進め方はいい。現状を見て本当に正しいのだろうかという疑問を持つことが大切だと思います。お疲れ様でした。

政策実践プロジェクトは、講義科目で学ぶ政策理論や政策分析が、実際はどのようなプロセスと要因、方法論によって展開されているのかを知るいい機会になると思います。

一人でも多くの学生諸君が政策の実際に触れていただき、学びの楽しさを感じていただければと思います。
(田代)



連絡先 福岡県北九州市小倉南区北方4丁目2番1号 北方キャンパス
北九州市立大学法学部政策科学科 教授 田代 洋久
E-Mail: tashiro@kitakyu-u.ac.jp